

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	16 指定通所介護事業			担当	総務係	事業種別	自主事業
開始年度	平成12年度	計画体系	基本目標3ー実施計画3ー(2)デイサービスセンターの運営				
根拠法令等	社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会指定通所介護事業所運営規程						
事業区分	社会福祉事業	サービス区分	通所介護事業サービス区分				
事務事業目的	介護保険法に基づき、要介護者に対し、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう機能訓練及び必要な日常生活の世話をを行うことにより、利用者の尊厳を守り、主体性を尊重しながら良質かつ適切なサービスを実施し、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的、精神的負担軽減を図る。						
実施内容	<p>【実施内容】</p> <p>社協のデイサービスセンターとして、『ことわらない』を理念におき、他事業所が受け入れ難い利用者（ターミナルケアや重度介護者等）を積極的に受け入れ、生活の質の向上や自立に向けて質の高いきめ細やかなサービスを提供した。また、ボランティアや学生の受け入れを行うことや、地域に向けた交流事業を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護計画等に基づき自立支援に向けたサービスの提供 ・口腔ケア加算及び機能訓練加算の算定のための計画、評価作成及び実務 ・コロナ禍での減収に伴う利用者数回復のための営業やチラシの作成 ・支部やボランティア団体への出張講座や事業所見学の対応（中央二丁目支部、中福岡支部、川崎支部、いきいきクラブ連合会、傾聴ボランティアえがお） ・事業所が契約していた利用者が特定施設等に入所し、特別な事情を考慮すべく措置とした自費サービスの提供 <p>【利用件数】（ ）内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護令和5年度延べ利用者数5,345件（5,277件） ・総合事業令和5年度延べ利用者数0件（67件） ・自費サービス令和5年度延べ利用者数18名（0名） <p>【研修等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度職員会議・学習会・研修会件数16回（16回） 						

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
活動	利用者数	開所日数及び利用者数の平均実績	件	目標	5,800	5,860	5,860
				実績	5,344	5,363	
				目標			
				実績			
				目標			
				実績			

備考	
----	--

コスト内訳(円)		R4	R5	R6	
収入	特定 財源	介護保険事業収入	56,869,999	57,740,559	
		その他の収入	952,023	40,000	
				189,288	
	特定財源合計 (a)	57,822,022	57,969,847		
	一般財源 (b)	14,345,600	15,499,600		
	収入合計 (c)	72,167,622	73,469,447		
支出	事業費 (b)	16,731,988	15,960,079		
	正規職員人件費	8,143,000	7,818,000		
	業務量(人)	1.0	1.00		
	嘱託職員人件費	30,382,500	30,084,840		
	業務量(人)	7.5	7.72		
	臨時職員人件費	15,872,760	16,775,860		
	業務量(人)	6.39	6.74		
人件費合計 (e)	54,398,260	54,678,700			
支出合計 (f)	71,130,248	70,638,779			

単位当たりコスト(円)		R4	R5	R6
単位の定義		利用者数(名)		
実績数値 (g)		5,344	5,363	
人件費単位当たりコスト(円) (e/g)		10,179.3	13,171.5	
人件費実質収支比率(%) (c/e)		132.7	1.04	

実施状況に対する 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財源の中には独自財源を投入している。(積立基金取崩) ・令和4年度のアンケートをもとに、リハビリにも力を入れ機能訓練加算を取得し、利用者に見合った機能訓練を実施した。リハビリするたびにシールを貼るなど利用者の意欲を高めるためにこういったことが効果があるかを調査し実践している。 ・令和4年度のパンフレットの改定その他、PR用にA4両面カラーのチラシを作成し、広く周知することができたが、利用者の増には繋がらなかった。 ・中丸デイサービスのPRの観点から、社協支部や福祉団体に対して事業所見学会や講義を実施し、PRを図ることができ継続していく。 ・水害訓練は市危機管理防災課と連携し、近隣住民の参加もあり、社協としてデイサービスでの地域の役割を担うことができた。 ・地域の方々や市民が参加できる講義を企画し、令和5年度は2回開催することができた。 ・SNSを活用し、事業所の催し等の紹介を意識した内容のPRができた。
------------------------	--

今後の方向性 【改善】	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から続いている赤字を解消するため、職員体制の見直しや事務の効率化を図る。 ・居宅介護支援事業所や関係機関との連携を密にし、市内及び市外近隣の事業所への営業や、SNSを活用しセンターの活動の周知、各種団体に対し講座の実施や中丸デイサービスセンターの見学会を実施することで利用者獲得に繋げる。 ・中丸デイならではの特徴である、よりきめ細やかで質の高い介護並びに看護といった受け入れ態勢をアピールし、サービス提供を継続していく。 ・介護職員、看護職の担い手不足、高齢化が課題であることから、介護職員の採用、ピンポイントで必要とする職員の採用を進め、「中丸デイの利用者様」が安心して充実した1日を過ごしていただけるような職員体制を再考する。
------------------------	---

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	17 会員募集事業			担当	地域福祉係	事業種別	自主事業
開始年度	平成21年度	計画体系	基本目標1－実施計画1－(4)寄付を通じた参加機会の提供				
根拠法令等	社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会会員規程						
事業区分	社会福祉事業	サービス区分	法人運営サービス区分				
事務事業目的	社会福祉法第4条に「地域住民、社会福祉を目的とする事業を経営する者及び社会福祉に関する活動を行う者は地域福祉に努めなければならない」という努力義務が規定され、社会福祉法第109条では「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と位置づけられている。そのため、「住民会員制度」を設け、納めていただいた会費を地域福祉活動の財源として活用することで、住民が地域福祉活動に参画してもらうことを目的に実施している。						
実施内容	<p>毎年5月に会員増強運動月間と位置づけ、社協支部を通じて自治組織の協力を得て市内全域で会員募集を行っている。また、企業・社会福祉法人・NPO法人等へは、ダイレクトメールにて団体会員・団体特別会員の依頼を行っている。</p> <p>【会員種類・年会費額】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般会員（世帯）500円以上、特別会員（世帯）1,000円以上、寄付（世帯）499円以下 団体会員 5,000円以上、団体特別会員 10,000円以上 （企業・社会福祉法人・NPO法人等へ依頼） <p>【令和5年度実績】（ ）内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般会員・特別会員への啓発 新入学児童世帯へチラシ配付 924世帯（953世帯） 新規団体会員・団体特別会員送付数 団体会員0件（2件）、団体特別会員9件（0件） <p>【会員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般会員16,405件（16,814件）、特別会員165件（182件）、団体会員32件（30件）<u>新規2件（3件）</u>、団体特別会員73件（74件）<u>新規13件（13件）</u> 合計 16,675件（17,100件） <p>【会費金額】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般会員8,208,900円（8,409,053円）、特別会員184,100円（193,590円）、団体会員160,000円（150,000円）、団体特別会員789,300円（784,300円） 合計 9,342,300円（9,536,943円） 						

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
活動	新規団体会員・団体特別会員へのダイレクトメール数	経年的管理実績	件	目標	75	10	10
				実績	2	9	
活動	新規一般会員・特別会員への啓発回数	前年度実績	件	目標	1,063	953	924
				実績	953	924	
成果	新規団体会員・団体特別会員数	前年度実績	件	目標	24	16	16
				実績	16	15	

備考 新規団体会員・団体特別会員数については、継続会員以外は新規会員扱いとする。

コスト内訳(円)		R4	R5	R6
収入	特定財源			
	特定財源合計 (a)			
	一般財源 (b)	9,536,943	9,342,300	
	収入合計 (c)	9,536,943	9,342,300	
支出	事業費 (d)	1,295,455	739,961	
	正規職員人件費	1,628,600	1,563,600	
	業務量(人)	0.2	0.2	
	嘱託職員人件費	1,620,400	1,169,100	
	業務量(人)	0.4	0.3	
	臨時職員人件費		497,800	
	業務量(人)		0.2	
人件費合計 (e)	3,249,000	3,230,500		
支出合計 (f)	4,544,455	3,970,461		

単位当たりコスト(円)	R4	R5	R6
単位の定義	会員数		
実績数値 (g)	17,100	16,675	
単位当たりコスト(円) (f/g)	265.8	238.1	
実質収支比率(%) (c/f)	209.9	235.3	

実施状況に対する評価	<p>年々、自治組織を退会する世帯が増え、それに伴い社協一般会員も減少している状況である。地域によっては、自治組織に加入していない世帯に地域側から戸別訪問し加入依頼しているが現状は難しい。また、職員が戸別訪問することもコスト上難しい。</p> <p>なお、会員募集によって得た会費収入（一般財源）は、社協支部の助成事業（支部活動費）や福祉教育推進校事業、ボランティアセンターの運営、住民参加型在宅福祉サービス事業、高齢者情報誌「福寿草」の発行、広報啓発事業、法人運営費等に充てられ貴重な自主財源として有効活用している。</p>
-------------------	---

今後の方向性【改善】	<p>今後は、社協との関わりや取引のある企業及び社会福祉法人、医療機関等にダイレクトメールにて団体会員・団体特別会員への呼びかけを行うとともに、必要に応じて訪問による新規開拓に努める。また、社協への理解と関心を高めるために、地域福祉活動に参加・協力いただけるよう積極的なアプローチをしていく。</p> <p>引き続き一般会員、特別会員の加入促進のために子育て世帯へのアプローチとして新入学児童お祝い事業などで社協のPR及び会員加入に関するチラシを配付する。</p> <p>会費の使い道等については社協だよりやホームページ、公式SNSを活用し地域住民に周知し、地域福祉事業の大切な財源になっていることも併せてよりわかりやすく伝えていく。</p> <p>社協の認知度を高めるため、社協支部活動の現場に職員が積極的に訪問する。</p>
-------------------	--

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	18-1 広報事業（ふじみ野市社協だよりの発行）	担当	総務係 地域福祉係	事業種別	自主事業
開始年度	平成21年度	計画体系	基本目標3—実施計画2—(1)広報活動の充実		
根拠法令等	社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会定款				
事業区分	社会福祉事業	サービス区分	法人運営サービス区分他		
事務事業目的	地域住民に社協の存在を知ってもらうことを第1の目的とする。幅広い年代層にPRできるよう魅力ある紙面づくりに努め、社協事業への参加及び協力に繋げるとともに、地域福祉における社協の重要性を理解してもらい、住民全体で地域福祉を推進していくことを目的とする。				
実施内容	<p>【発行内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6ページ 年5回(5月、7月、10月、12月、3月) 各回約54,500部を全戸配布 ・*7月号は4ページ ・朗読版 各回12本（カセットテープ） ・点字版 各回7冊 <p>【発行準備】</p> <p>①記事案募集 ②記事選定会議 ③記事作成 ④印刷業者へ原稿提出 ⑤校正(2回) ⑥発行</p> <p>【広報編集委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事及び評議員、社協支部長6名で構成。年1回次年度における編集の方向性や当該年度の改善点、年間掲載予定内容等について協議。 <p>【配布方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報ふじみ野に挟み込み全戸配布。その他寄付者・記事寄稿者にも送付。 ・主な配架先 市内公共機関22か所（市役所本庁舎各課、大井支所、公民館、図書館等） ・令和5年度新規配架先：ふじみ野駅、文京学院大学BICS、第3庁舎掲示板 				

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
活動	発行数	ふじみ野市世帯数	部	目標	54,000	54,500	55,000
				実績	54,000	54,500	
活動	民間への配架件数	努力目標	件	目標	0	5	5
				実績	0	3	
				目標			
				実績			

備考	
----	--

コスト内訳(円)		R4	R5	R6	
収入	特定 財源	共同募金配分金	1,618,870	2,091,581	
		市受託金	270,000	90,000	
		介護保険収入	150,000	150,000	
		特定財源合計 (a)	2,038,870	2,331,581	
		一般財源 (b)	432,826	1,067,144	
		収入合計 (c)	2,471,696	3,398,725	0
支出		事業費 (b)	2,471,696	3,365,235	
		正規職員人件費	2,687,190	3,049,020	
		業務量(人)	0.33	0.39	
		嘱託職員人件費	1,579,890	779,400	
		業務量(人)	0.39	0.2	
		臨時職員人件費			
		業務量(人)			
		人件費合計 (e)	4,267,080	3,828,420	0
	支出合計 (f)	6,738,776	7,193,655	0	

単位当たりコスト(円)	R4	R5	R6
単位の定義	配布世帯数(件)		
実績数値 (g)	54,000	54,500	
単位当たりコスト(円) (f/g)	124.8	132.0	
実質収支比率(%) (c/f)	36.7	47.2	

実施状況に対する 評価	<p>前号フルカラーと併せ、発行回数を前年度4回から5回にすることで、地域住民がより身近に感じ、手に取って読んでいただける機会を増やし啓発活動を推進した。</p> <p>また、朗読版社協だよりに加え、点字版社協だよりの作成も再開し、社協だよりのバリアフリー化を進めた。</p>
------------------------	--

今後の方向性 【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を始め、市内の在勤者、企業等にも関心をもってもらうため、市内の店舗など配架先の拡大を検討していく。 ・「読みやすい」、「読みたい」と思ってもらえる社協だよりを作成するため、効果的な写真の使い方、伝えたいことをしっかりと伝える記事づくりなど内容の充実を図っていく。 ・社協ホームページ、公式SNS、社協だよりを本会の「広報」として一体的に考えることにより、本会の広報力の強化を図っていく（職員全体に広報を意識するような雰囲気を作っていく）。
------------------------	--

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	18-2 広報事業（ふじみ野市社協ホームページ）	担当	総務係	事業種別	自主事業
開始年度	平成28年度	計画体系	基本目標3—実施計画2—(1)広報活動の充実		
根拠法令等	社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会広報媒体有料広告の掲載の取扱いに関する規程				
事業区分	社会福祉事業	サービス区分	法人運営サービス区分他		
事務事業目的	「ふじみ野市社協だより」と同じく地域住民に社協の存在を知ってもらうことを第1の目的とするが、ホームページという特性上、具体的に何かをしてほしい（または何かしたい）という方が検索することを想定し、本会が何をしている団体かということを知りやすく伝えることも目的の1つとする。				
実施内容	<p>【内容】（ ）内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種事業の紹介 ・社協カレンダー ・共同募金会支会（共同募金／義援金情報） ・資料集 ・新着情報 ・社協だより ・関連リンク ・バナー広告 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス数 14,814件（17,497件） ・新着情報掲載件数 41件（29件） ・バナー広告 1件（1件） 				

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
成果	アクセス数	前年度実績	件	目標	29,000	17,800	18,000
				実績	17,497	14,814	
活動	新着情報	新着情報掲載数	件	目標	27	35	40
				実績	29	41	
				目標			
				実績			

備考	
----	--

コスト内訳(円)		R4	R5	R6	
収入	特定 財源	広告収入	36,000	36,000	
		共同募金配分金	281,042	233,236	
	特定財源合計 (a)	317,042	269,236		
	一般財源 (b)	0	0		
	収入合計 (c)	317,042	269,236		
支出	事業費 (b)	317,042	269,236		
	正規職員人件費	814,300	781,800		
	業務量(人)	0.10	0.10		
	嘱託職員人件費				
	業務量(人)				
	臨時職員人件費				
	業務量(人)				
人件費合計 (e)	814,300	781,800			
支出合計 (f)	1,131,342	1,051,036			

単位当たりコスト(円)		R4	R5	R6
単位の定義		年間アクセス件数		
実績数値 (g)		17,497	14,814	
単位当たりコスト(円) (f/g)		64.7	70.9	
実質収支比率(%) (c/f)		28.0	25.6	

実施状況に対する 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・年間アクセス数は特例貸付の影響により増加した令和2年度（約54,000件）、令和3年度（約29,000件）を除くと、15,000件前後で推移しており、令和5年度は14,814件だったため例年どおりの件数となっている。 ・バナー広告は、現在1件である。バナー広告の取扱いについて、まずはホームページの中身の充実を図りつつ、掲載件数を増やすことも検討が必要。
----------------	---

今後の方向性 【改善】	<ul style="list-style-type: none"> ・公式ライン、公式フェイスブックと連携し、市民が困りごとやボランティア活動などについて検索した際、それに応えることのできるホームページづくりを考えていく。また、誰がみてもわかりやすく魅力的なホームページづくりを目指していく。 ・現行のホームページでは、スマートフォンへの対応ができていないため、新たなシステムへの移行について検討していく。
----------------	--